

介護のお仕事のホント！

もっと介護を知ろう！

介護の第一線で活躍されている
皆さんにインタビューしました。



踏み出す一歩 進むは介護の道

介護の仕事についてきっかけは？

子供の頃は祖父母と過ごす時間が多かったので、高齢者の役に立つ仕事をしたいと思いました。僕の介護のイメージも、世間で言われるような業界とは思ってなくて、かけがえのない大切な仕事だと思ったことも理由の一つです。

介護の仕事はとうですか？

学生の時は、違う分野を学んでいたの、専門校等の出身者と比べた時に自分の知識不足に不安を感じました。

しかし、分からないこと、知らないことをそのままにせず、素直に先輩に教わり、実践することで不安を乗り越えました。今では、事業所で最年少ではありますが管理者を務めています。



いわなみ けいた
岩波 啓太さん（介護福祉士）
【富士見町】グループホームひなたほっこ

仕事と子育てのバランスは？

1年ほど前に子供が生まれました。妻も介護職なので仕事にも理解があり、子育てをしながら仕事も頑張っています。

仕事と家庭の時間はしっかり切り分け、休日には子どもを連れてドライブをして楽しんだりしています。



今後の目標は？

まだ管理者になって日が浅いので、まずは管理者の業務を全て理解してできるようになることが当面の目標です。管理者になったことで、現場の時とは異なる知識やスキルが必要だと感じている毎日です。

メッセージをお願いします

皆さんの介護のイメージはどんな感じでしょうか。もしかしたら、よくある4Kといったものを思い浮かべるかもしれません。

少しでも興味をお持ちなら、イメージに囚われず、まずは体験してみてください。やってみると見つかる面白さもありますよ。



はらだ みほ
原田 三穂さん（介護福祉士）
【岡谷市】さわやか絹の郷信州おがや
（特定施設入居者生活介護）

介護の仕事のきっかけは？

祖母を自宅で介護してきた家族の姿を長年見ていて介護に興味がありましたが、同時に「自分にできるのかな」と不安もあったため一度は別の道を選びました。

それでも、もともと介護をやってみようと思い、転職して介護の世界に進むことを決めました。

やりがいや魅力はなんですか？

利用者さんと、ふとした瞬間に笑いあえることが幸せで、そんな小さな幸せのある日々がとても楽しいです。

また、気づきや工夫で利用者さんの状況が改善したり、スタッフ皆で成し遂げる楽しさが味わえるのもこの仕事ならではの魅力だと思います。



はらだ みほ
原田 三穂さん（介護福祉士）
【岡谷市】さわやか絹の郷信州おがや
（特定施設入居者生活介護）

プライベートは？

スポーツサークル「スポーツメイト」の皆でフットサルをしています。毎回20人前後のメンバーが集まっていて、開催頻度はその時々ですが、多いときには毎週やっていました。

また、サークル以外だとジムにもよく行っていました。

仕事でも体を使うため、普段から体を動かしている方が仕事でも調子がいいです。



今後の目標は？

今後も、現場で利用者さんと関わり続けていきたいです。

また、私の目指す姿として、こうなりたいなと憧れている先輩がいます。いつでも優しく明るく、色々なことに気づく方で、その先輩の近くにいるだけで幸せになれるような気がするんです。

そんな先輩のようになるように日々頑張ります！



うえの たくま
上野 拓真さん（理学療法士）

【岡谷市】リハビリテーション小萩
（地域密着型通所介護）

コロナ禍での過ごし方やプライベートは？

DIYや掃除など家の中でできることをしています。この機会に普段できないことを見つけて、自分なりに楽しんでいました。

コロナ禍以前は、徳之島にある祖母の家に行くなど、旅行を楽しんでいました。



介護の仕事のきっかけは？

高校卒業後の進路選択で、担任教諭から勧められたことがきっかけです。運動部だったため、怪我の治療で整骨院に通っていたこともあり、理学療法士は身近な存在でした。専門学校へ進学し、理学療法士の資格を取得後3年程病院で働いていましたが、患者さんが退院した後も継続的に関わりを持てる環境を求めてこの仕事に就きました。

大切にしていること・魅力は？

利用者さんの言葉も大切ですが、私は利用者さんの状態がどう改善しているのか、客観的に見ることを心掛けています。病院勤務時代は、退院後の患者さんの生活の様子を確認できませんでしたが、介護のリハビリはその方の生活に寄り添い、全体的に関わることができる点が魅力です。



今後の目標は？

今後はデイサービスのリハビリからもう一步踏み込み、実際に利用者さんが暮らしている自宅で直接関われる訪問リハビリの仕事をしたいと思っています。

生活の拠点である自宅での様子を自分の目で見て、より利用者さんの状態にあったケアをしたいと考えています。



はやし みつる
林 充さん（介護福祉士）

【下諏訪町】諏訪共立定期巡回ケアえにし

プライベートは？

コロナで行けませんが、山歩き（高地の水平移動なので登山ではありません。）です。

山歩きのいいところは、とにかく足を前に出していけば、いずれは頂上にたどり着くところです。



介護の仕事のきっかけは？

介護施設の事務をしていましたが、楽しそうに働いている介護職員を見て、自分もやってみたい!!と思ったのがきっかけです。

やりがい、魅力は？

利用者さんやご家族にとって何が大切なのか、職場全体で話し合いますが、自分の意見も尊重され、受け入れてもらえます。訪問看護と連携を取りながら仕事をするのもやりがいです。

今後の目標は？

介護のことで悩んでいる方は多いと思うので、そんな方を助けたいですね。それが

できるのはケアマネなので取得に向けて勉強中です。



メッセージをお願いします

あなたやご家族のその不安や悩みをお聞かせください。いっしょに考え解決しましょう。「えにし」スタッフ一同、お待ちしております。

コロナ禍での過ごし方は？

今は、外食とかできないので、同僚とお昼に町内のテイクアウトのお弁当を楽しんでいます。おすすめの店もありますよ。



新たに介護の仕事をはじめてみたい方へ

諏訪広域連合 介護保険課では、新たに介護の職場で働きたいと思っている方等を対象に、相談窓口を設けています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

《介護のお仕事相談窓口》

諏訪広域連合 介護保険課（茅野市役所6階）

☎ 0266-82-8162（直通）

平日 午前8時30分～午後5時15分

介護ひとくちメモ
諏訪広域の介護の仕事に携わる人の平均年齢は、48.5歳。
働いている方のうち、約3割の人が子育てや介護をしながら働いています。